

# ナント地域経済調査結果【2012年7～9月期】

## ～奈良県内エリアの景気は総じて厳しい状況～

### はじめに

地域の経済状況を把握する「ナント地域経済調査【2012年7～9月期】」を実施し、その結果を取りまとめました。本調査は、南都銀行各支店長に対するアンケート調査を通じて、地域の景気の水準・方向性を把握することを目的とするものです。

本調査において、奈良県（三重県名張市を含む）を北和・中和・東部・南和の4つのエリアに分け、大阪府、京都府、和歌山県は各府県を1つのエリアとしています。

### エリアと支店所在地および支店数

エリア	支店所在地（マル数字は支店の数）
奈良県	北和地区【31か店】 奈良市⑩、生駒市⑤、大和郡山市③、天理市③、生駒郡④
	中和地区【31か店】 橿原市⑥、大和高田市③、桜井市③、御所市③、香芝市③、葛城市②、北葛城郡⑥、磯城郡③、高市郡②
	東部地区【6か店】 宇陀市③、三重県名張市③
	南和地区【9か店】 五條市①、吉野郡⑧
大阪府【16か店】	大阪市⑥、東大阪市④、大東市①、八尾市①、羽曳野市①、河内長野市①、堺市①、泉佐野市①、兵庫県尼崎市①
京都府【14か店】	木津川市③、京田辺市③、京都市②、城陽市①、宇治市①、相楽郡③、綴喜郡①
和歌山県【7か店】	橋本市③、和歌山市①、紀の川市①、岩出市①、伊都郡①

\*支店が存在しない市町村がある。  
\*大阪府の対象支店は前回調査よりも2か店増加している。

### 【景気の水準・方向性の数値の算出方法】

景気の水準・方向性を「良い・改善＝2点」「やや良い・やや改善＝1点」「どちらともいえない・不変＝0点」「やや悪い・やや悪化＝－1点」「悪い・悪化＝－2点」の5段階で判断。エリア別の合計点を、すべて「良い・改善＝2点」とした場合の合計点で除した数値に100を乗じて算出。評価の最高は100、最低は△100となる。なお、支店規模に応じてウェイト調整を行っている。

## 1 景気の水準

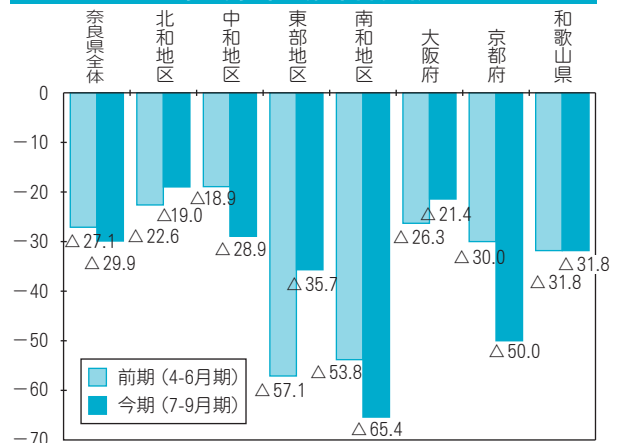
### 1. 総合判断

今期（7～9月期）の景気水準は、奈良県全体で△29.9となり、前期（4～6月期）より2.8ポイント悪化した。これをエリア別にみると、北和地区が前期の△22.6から△19.0へ3.6ポイント改

善、東部地区が同△57.1から△35.7へ21.4ポイント改善した。一方、中和地区は同△18.9から△28.9へ10.0ポイント悪化、南和地区は同△53.8から△65.4へ11.6ポイント悪化した。

他府県では大阪府が△21.4で4.9ポイント改善したが、京都府が△50.0で20.0ポイント悪化、和歌山県が△31.8で横ばいとなった。

### 景気水準（総合判断）



\*大阪府、京都府、和歌山県の営業エリアは、奈良県と異なり、府県域全体を対象としていない。  
\*前回調査のデータは一部補正して掲載（以下同様）。

## 2. エリア別にみた項目ごとの景気水準

### (1) 北和地区

企業の資金需要（△33.3）、企業の設備投資（△29.8）が低水準。ただし、県内他地区に比較して水準は高い。前期との比較では、個人の資金需要と企業収益の改善がみられる。

	個人		企業			
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期 (4-6月期)	△16.7	△23.8	△23.8	△31.0	△35.7	△28.6
今期 (7-9月期)	△17.9	△13.1	△22.6	△21.4	△29.8	△33.3

### (2) 中和地区

企業の設備投資（△47.8）、企業の資金需要（△45.6）、企業収益（△42.2）が低水準である。前期との比較では個人消費を除く5項目で悪化している。

	個人		企業			
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期 (4-6月期)	△15.6	△12.2	△12.2	△24.4	△26.7	△36.7
今期 (7-9月期)	△12.2	△20.0	△30.0	△42.2	△47.8	△45.6

### (3) 東部地区

企業の設備投資（△50.0）、企業収益（△42.9）が低水準。前期との比較では、総じて大幅な改善がみられる。

	個人		企業			
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期 (4-6月期)	△42.9	△50.0	△57.1	△57.1	△85.7	△78.6
今期 (7-9月期)	△21.4	△35.7	△21.4	△42.9	△50.0	△35.7

### (4) 南和地区

すべての項目において低水準である。前期との比較では、企業の設備投資・資金需要を除く4項目で悪化が見られ、特に個人消費の悪化が目立つ。

	個人		企業			
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期 (4-6月期)	△38.5	△46.2	△57.7	△53.8	△84.6	△61.5
今期 (7-9月期)	△65.4	△65.4	△65.4	△69.2	△69.2	△53.8

### (5) 大阪府

企業の設備投資（△50.0）と企業の資金需要（△47.6）が比較的低水準である。前期との比較では、悪化幅の大小はあるが、すべての項目で悪化している。

	個人		企業			
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期 (4-6月期)	△10.5	△15.8	△15.8	△18.4	△31.6	△31.6
今期 (7-9月期)	△16.7	△16.7	△26.2	△26.2	△50.0	△47.6

### (6) 京都府

企業の4項目は総じて低水準である。一方、個人の項目は比較的高水準。前期との比較でも、企業の4項目の悪化が顕著である。

	個人		企業			
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期 (4-6月期)	△12.5	△17.5	△25.0	△12.5	△25.0	△35.0
今期 (7-9月期)	△17.5	△10.0	△55.0	△55.0	△65.0	△60.0

### (7) 和歌山県

特に企業収益が低水準。前期との比較では、企

業の設備投資・資金需要は改善、個人消費、企業の生産活動・収益は悪化（個人の資金需要は横ばい）。

	個人		企業			
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期 (4-6月期)	9.1	△22.7	△9.1	△31.8	△31.8	△36.4
今期 (7-9月期)	△4.5	△22.7	△22.7	△40.9	△27.3	△22.7

## 3. 奈良県の特徴的事項

奈良県の4エリアで、前期は比較的景気の水準が高い北和地区・中和地区と、比較的低い東部地区・南和地区に二極化していたが、今期は東部地区で大きく改善、南和地区は大きく悪化となった。その結果、景気水準（総合判断）は、南和地区のみ低水準に留まっている。

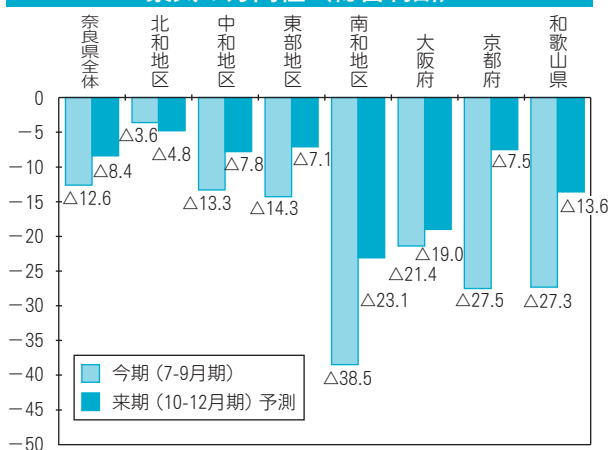
## 2 景気の方角性

### 1. 総合判断

前期から今期にかけての景気の方角性は、奈良県全体では△12.6となり、前期に比較し景気は悪化している。これをエリア別に見た場合、北和地区（△3.6）、中和地区（△13.3）、東部地区（△14.3）、南和地区（△38.5）の順に悪くなっており、特に南和地区の落ち込みが目立っている。他府県では大阪府（△21.4）、和歌山県（△27.3）、京都府（△27.5）の順で悪化となった。

今期と比較した来期（10～12月期）の景気の方角性の予測は、奈良県全体では△8.4となり、悪化の見込み。これをエリア別に見ると、北和地区（△4.8）、東部地区（△7.1）、中和地区（△7.8）、南和地区（△23.1）の順に悪化の予測度合いが強い。また、他府県では、京都府（△7.5）和歌山県（△13.6）、大阪府（△19.0）の順で悪化の予測度合いが強い。

景気の方向性（総合判断）



2. エリア別にみた今期および来期の方向性

(1) 北和地区

①今期の方向性（前期との比較、以下同様）

個人消費のみ改善、その他は悪化。

②来期の方向性（今期との比較、以下同様）

全て悪化と予測するものの、個人の資金需要、企業の生産活動・資金需要の3項目で悪化予測が減少。

		今期 (7-9月期)	来期 (予測) (10-12月期)
個人	消費	1.2	△4.8
	資金需要	△7.1	△2.4
企業	生産活動	△14.3	△9.5
	収益	△7.1	△10.7
	設備投資	△6.0	△6.0
	資金需要	△10.7	△3.6

(2) 中和地区

①今期の方向性

すべての項目で悪化。

②来期の方向性

来期は個人消費が改善、個人の資金需要が横ばいと予測。他の項目も悪化予測が減少。

		今期 (7-9月期)	来期 (予測) (10-12月期)
個人	消費	△2.2	2.2
	資金需要	△7.8	0.0
企業	生産活動	△14.4	△8.9
	収益	△21.1	△13.3
	設備投資	△13.3	△6.7
	資金需要	△18.9	△12.2

(3) 東部地区

①今期の方向性

すべての項目で悪化。

②来期の方向性

個人および企業の資金需要は改善、個人消費・企業収益は横ばいと予測。その他の項目も悪化予測が減少。

		今期 (7-9月期)	来期 (予測) (10-12月期)
個人	消費	△7.1	0.0
	資金需要	△28.6	7.1
企業	生産活動	△14.3	△7.1
	収益	△42.9	0.0
	設備投資	△28.6	△7.1
	資金需要	△35.7	7.1

(4) 南和地区

①今期の方向性

すべての項目で悪化。

②来期の方向性

すべての項目で悪化を予測するが、個人の資金需要、企業の生産活動・資金需要の悪化予測は減少。

		今期 (7-9月期)	来期 (予測) (10-12月期)
個人	消費	△19.2	△23.1
	資金需要	△34.6	△23.1
企業	生産活動	△26.9	△15.4
	収益	△34.6	△34.6
	設備投資	△30.8	△26.9
	資金需要	△26.9	△3.8

## 景気の方向性

	総合判断		個人				企業							
	今期 (7-9月期)	来期(予測) (10-12月期)	消費		資金需要		生産活動		収益		設備投資		資金需要	
			今期 (7-9月期)	来期(予測) (10-12月期)	今期 (7-9月期)	来期(予測) (10-12月期)	今期 (7-9月期)	来期(予測) (10-12月期)	今期 (7-9月期)	来期(予測) (10-12月期)	今期 (7-9月期)	来期(予測) (10-12月期)	今期 (7-9月期)	来期(予測) (10-12月期)
奈良県全体	△12.6	△8.4	△3.3	△3.7	△12.1	△3.3	△15.9	△9.8	△18.7	△14.0	△13.6	△8.9	△17.8	△6.5
北和地区	△3.6	△4.8	1.2	△4.8	△7.1	△2.4	△14.3	△9.5	△7.1	△10.7	△6.0	△6.0	△10.7	△3.6
中和地区	△13.3	△7.8	△2.2	2.2	△7.8	0.0	△14.4	△8.9	△21.1	△13.3	△13.3	△6.7	△18.9	△12.2
東部地区	△14.3	△7.1	△7.1	0.0	△28.6	7.1	△14.3	△7.1	△42.9	0.0	△28.6	△7.1	△35.7	7.1
南和地区	△38.5	△23.1	△19.2	△23.1	△34.6	△23.1	△26.9	△15.4	△34.6	△34.6	△30.8	△26.9	△26.9	△3.8
大阪府	△21.4	△19.0	△11.9	0.0	△11.9	△4.8	△11.9	△19.0	△28.6	△31.0	△28.6	△21.4	△11.9	△19.0
京都府	△27.5	△7.5	△10.0	△7.5	△10.0	△12.5	△35.0	△15.0	△40.0	△15.0	△60.0	△20.0	△47.5	△20.0
和歌山県	△27.3	△13.6	0.0	△9.1	△18.2	△9.1	△22.7	0.0	△27.3	△36.4	△9.1	△13.6	△13.6	0.0

### 3 奈良県内の景気の水準および方向性のまとめ

奈良県の景気水準は、前期に比較し今期は2.8ポイント悪化し、概ね4つのどのエリアにおいても厳しい状況にあり、特に南和地区の水準が低い。奈良県の景気は、一部に悪化予測が減少する動きもあるが、依然として厳しい水準にあり、その状況は今後も続くと思込まれる。

(丸尾尚史、太田宜志)

#### 調査の概要

##### (1) 調査方法(2012年9月下旬~10月上旬実施)

南都銀行各支店長が、自店の営業範囲における地域経済の状況について、店頭での取引状況や取引先企業、自治体・商工会等へのヒアリングなどにより総合的に判断した。

##### (2) 調査項目

景気の水準と方向性に関して、個人の2項目(消費、資金需要)および企業の4項目(生産活動、収益、設備投資、資金需要)について5段階で評価し、その評価に基づき総合判断を行う。

##### (3) 対象エリア

大阪府(兵庫県尼崎市含む)、京都府、和歌山県については府県単位とし、奈良県は以下の4つのエリアに区分している。

- ①北和地区：奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、生駒郡平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町
- ②中和地区：大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、香芝市、葛城市、磯城郡川西町・三宅町・田原本町、高市郡高取町・明日香村、北葛城郡上牧町・王寺町・広陵町・河合町
- ③東部地区：宇陀市、山辺郡山添村、宇陀郡曽爾村・御杖村、三重県名張市
- ④南和地区：五條市、吉野郡吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・野迫川村・十津川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村

#### <奈良県のエリア分け>

